

平成27年度 事業計画書

新潟コンベンションセンター指定管理者
新潟万代島総合企画株式会社

平成27年度の事業計画について

平成27年3月、当社は新潟県から「新潟コンベンションセンター」、「万代島駐車場」及び「新潟港万代島緑地」の公募による3回目の指定管理者の指定を受け、平成27年4月より新たな5年間をスタートする。

公募3期目の初年度となる今年度は、公募時に「朱鷺メッセの価値を高め、新潟の発展に尽くす」をコンセプトに提案した事業計画を実現すべく、次に掲げる基本方針の下、全社一丸となって「新潟コンベンションセンター」、「万代島駐車場」及び「新潟港万代島緑地」の運営に邁進する。

〈基本方針〉

1 「新潟経済活性化の手段」としての朱鷺メッセ

新潟経済活性化と新潟の知名度向上のため、朱鷺メッセに相応しいMICEの誘致や自主企画事業を積極的に展開する。

2 「新潟のシンボルゾーン」としての朱鷺メッセ

新潟日報メディアシップ、万代シテイ等と連携して、信濃川に面した豊かなウォーターフロント空間を活かした憩いと安らぎの場を提供し、多くの人々が交流する新潟のシンボルゾーンを形成する。

3 「安全安心で快適な利用空間」としての朱鷺メッセ

10年余の管理運営で得たノウハウを十分に活かして、施設の維持保全と安全対策に万全を期す。

また、主催者、来場者に高い満足感と地球環境に優しいサービスを提供する。

I 新潟コンベンションセンターの管理運営について

1 施設の利活用

(1) MICE誘致への取り組み

- ① 経済波及効果の高いコンベンション
県外からの来場者の多い全国学会、全国大会の誘致を積極的に行う。
- ② 新潟の知名度・ステータス向上につながるコンベンション
政府間会合や国際会議の開催を県・市と協力して目指す。
- ③ 産業の活性化を促すコンベンション
見本市・展示会の開催を積極的に支援し、新潟の産業活性化に寄与する。

(2) 目標稼働率

平成27年度の展示ホール、メインホール及び国際会議室の目標稼働率は、公募時に提案した次の数値とする。

区分	目標日数	稼働率
年間稼働可能日数	354	——
展示ホール	215	60%
メインホール	270	76%
国際会議室	212	59%
合計	697	65%

※年間稼働可能日数：(366日-休館日6日-臨時休館日6日)×3施設

(3) 新潟のシンボルゾーンとしての賑わいの創出

- ① 万代シティ及びその周辺（以下「万代地区」）との連携による賑わい
信濃川右岸に位置する「新潟日報メディアシップ」、「万代シティ」、「NST」と連動したイベントを開催し、万代地区と一体で賑わいを創出する。

時期	イベント名	内容
春	花の川	チューリップの花絵展示
夏	星の川	来場者参加の短冊と七夕飾り
秋	アートの川	芸術作品を集めた展示会
冬	光の川	ペットボトルツリー等によるイルミネーション

- ② 朱鷺メッセ及びその周辺（以下「万代島地区」）での連携による賑わい
万代島地区のお祭りである「フェスタ万代島」や信濃川を渡るそよ風と景観を楽しむアコースティックコンサート「川べの音楽」などを開催し、万代島地区の賑わいを創出する。

③ 館内での賑わい

「ダンボール大遊園地 in ときメッセ」(新潟日報社との共催) や名探偵コナン連載 20 周年企画イベント「コナン展」(テレビ新潟との共催) などを「自主企画事業」の一環として開催する。

2 利用者に対するサービス

(1) ワンストップサービスの提供

利用者の多様なニーズに対して当社が一括して窓口となり、各種サービスをワンストップで提供することにより、利用者の利便性向上に努める。

(2) 多様な料金制度の設定

今年度は、「国際会議特定料金」の新設や「直前予約料金」の対象をメインホールの休日利用まで拡大するなど、多様な「特定料金」を設定して利用者のニーズに応える。

(3) 利用者ニーズの把握

利用者懇談会や各種アンケートなどの実施により、利用者の生の声を広く収集して業務品質の向上に努める。

(4) 高速 Wi-Fi 環境の整備

現在、会議棟、アトリウムのみでの利用であった Wi-Fi エリアを展示棟、エスプラナード、エントランスを加えた全館に拡大し、主催者、来場者の利便性向上を図る。

3 安全・安心で効率的な施設の維持管理

(1) 維持保全計画の遂行と維持管理グレードの確保

平成 25 年に改訂した「新潟コンベンションセンター等維持保全計画」の順次見直しを行い、維持管理グレードの確保に努める。

(2) お客様の安全を第一とする施設の管理運営の実現

お客様の安全を第一に考え、火災、災害、事故などに対するマニュアル整備や訓練を行うとともに、これらの予防に対する主催者への支援を行う。

(3) 技術評価委員会の開催

技術評価委員会では、毎年度、施設建築物等の維持保全業務が「新潟コンベンションセンター維持保全計画」に沿って行われているかどうかを確認・評価し、その結果を県に報告する。

また、技術評価委員会からは、環境や省エネ面など新たなテーマについて適宜助言を得て、今後の業務に反映させる。

【技術評価委員会の構成】(平成 27 年 3 月 31 日現在)

委員長：新潟大学教授	西村 伸也 氏
委員：新潟工科大学教授	地濃 茂雄 氏
委員：新潟県設備設計事務所協会監事	木村日出男 氏

4 地球環境への取り組み

(1) 地球環境にやさしい施設づくり

当社は ISO14001 に基づき、「地球環境にやさしい施設づくり」を基本理念として地球環境の保全を事業活動の重要な柱の1つとして捉え、全社をあげて取り組む。

(2) 環境情報の発信

ホームページでの発信のほか、環境教育・啓発活動の一環として「ダンボール大遊園地 in ときメッセ」においてエコに関する啓発コーナーを設置する。

(3) 環境意識の向上

環境意識の向上を図るため、夏期に当社で作成する「うちわ」の配布をするほか部材のリサイクルやごみの分別などについても利用者に積極的に働きかける。

Ⅱ 万代島駐車場の管理運営について

1 MICE 開催をサポートする運営

(1) 大型催事開催時における駐車場の円滑な運営

大規模催事開催時には、多種多様な利用者の集中的な入出庫に対応してきたノウハウを活かして「安全」を最優先とした運営を行う。

(2) 入江側駐車場の再編

来場者の利便性向上を図るため、入江側の駐車場C・D及び多目的広場を再編して駐車台数を増やす方策を検討する。検討にあたっては港湾計画との整合など県、市と十分協議しながら進める。

2 多様なニーズに応じた運営

(1) MICE 利用者ニーズの把握

MICE 誘致を推進するため、利用者懇談会や各種アンケートで主催者や来場者のニーズを把握して利便性の向上に努める。

(2) 万代地区利用者への対応

ホテル、オフィス、美術館、佐渡汽船など利用者はもとより、万代地区利用者にも利用して頂けるよう柔軟に対応する。

3 安全安心を最優先とする駐車場管理

(1) 24 時間体制の常駐警備

巡回やモニター監視による24時間体制の警備を徹底し、事故等の未然防止に取り組む。

(2) 防災・防火訓練の実施

立体駐車場における防災・防火訓練やエレベーターの救出訓練を通じ、駐車場利用者の安全確保に努める。

(3) 大規模催事開催時における安全誘導

大規模催事開催時には、警備員を増員配置し、駐車場内外の安全と円滑な交通確保に努める。

(4) 立地特性を踏まえた管理

立体駐車場は塩害対策、緑地の多い平面駐車場は緑豊かなグレードの高い植栽管理など、ポイントを押さえた効果的な維持管理を実施する。

4 駐車場利用者増に向けた取り組み

(1) 催事来場者による利用増

大規模催事の開催増を図り、これに伴う駐車場利用者の増加を目指す。

(2) 佐渡汽船利用者へのPR

佐渡航路利用者に対する低額料金を佐渡汽船株式会社のホームページなどにも掲載していただき、万代島駐車場のPRに努める。

(3) 定期券利用者の確保

時間貸利用とのバランスを図りながら万代島地区及びその周辺地区住民や事業所に対する定期券利用を推進する。

(4) 万代地区利用者

万代地区の事業者との共同イベント開催など万代島地区との回遊性を高めることにより、駐車場の利用促進を図る。

5 来場者利便設備等の設置について

(1) 誘導サイン

駐車場内外における誘導サインの見直しを適宜行い、利便性の向上に努める。

(2) 飲料自動販売機

利用者の利便性向上を図るとともに街灯として防犯機能を発揮する飲料自動販売機をA・B2・C・D・Eの各駐車場に設置する。

Ⅲ 新潟港万代島緑地の管理運営について

1 万代地区との回遊性創出

(1) 一体感のある動線整備

万代地区から朱鷺メッセまでの歩道上にフラワーハンギングバスケットを設置するなどして一体感のある動線を演出する。

(2) 共同イベントの実施

万代シティやメディアシップなどと共同でイベントを実施して、万代地区との回遊性を創出することに努める。

2 シンボルゾーンの形成

(1) 緑地単体としての魅力向上

緑地の魅力向上を図るため、リバーフロントパークのフラワーベッド整備について検討し、県と協議する。

(2) 憩いと安らぎの提供

緑地が県民の憩いと安らぎの場となるよう植栽、芝生の管理を仕様書に基づいて適切に実施する。

3 安全安心な管理

(1) 巡回警備による犯罪の未然防止

利用者が安心してご利用できるよう、警備員による巡回を実施するなど犯罪や事故のない緑地管理を推進する。

(2) 環境に配慮した植栽管理

土壌の環境保全や樹木の健全な育成に配慮した管理を実施する。

平成27年度 収支計画

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	445,722	299,003	0	744,725
2 自主企画事業収入	1,004	0	0	1,004
3 指定管理料収入	65,000	0	0	65,000
4 その他収入	46,344	0	0	46,344
収入計 A	558,070	299,003	0	857,073

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	122,566	17,568	5,627	145,761
2 事業費	88,419	9,780	40	98,239
3 維持管理費	396,852	98,577	17,428	512,857
4 運営事務費	45,805	4,376	1,354	51,535
支出計 B	653,642	130,301	24,449	808,392

収支 C(A-B)	▲ 95,572	168,702	▲ 24,449	48,681
-----------	----------	---------	----------	--------

平成27年度 収支計画(内訳)

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	445,722	299,003	0	744,725
2 自主企画事業収入	1,004	0	0	1,004
3 その他収入	46,344	0	0	46,344
収入計 A	493,070	299,003	0	792,073

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	122,566	17,568	5,627	145,761
2 事業費	88,419	9,780	40	98,239
自主企画事業	45,658	0	0	45,658
誘致広報業務	16,823	93	40	16,956
新潟県納付金	0	9,502	0	9,502
その他事業費	25,938	185	0	26,123
3 維持管理費	396,852	98,577	17,428	512,857
維持管理業務経費	348,197	91,719	17,428	457,344
計画的(中規模)修繕等経費	48,655	6,858		55,513
4 運営事務費	45,805	4,376	1,354	51,535
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	32,332	4,376	1,354	38,062
支出計 B	653,642	130,301	24,449	808,392
指定管理料を除いた収支 C(A-B)	▲ 160,572	168,702	▲ 24,449	▲ 16,319
指定管理料 D	65,000	0		65,000
指定管理料を含めた収支 E(C+D)	▲ 95,572	168,702	▲ 24,449	48,681